

## 日本骨髄バンクの現状（2022年4月末現在）

	3月	4月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,483	2,930	538,098	890,381
患者登録者数	223	171	1,739	64,143
移植例数	121 [38]	87 [31]	—	26,590[1,560]

### ■4月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	3,383人
20代	85,062人
30代	135,973人
40代	220,035人
50代	93,645人

### ■4月の20歳未満の登録者 618人

※[ ]内は末梢血幹細胞移植の実施数（累計数は国際間含む）

■区分別ドナー登録者数：献血ルーム724人、献血併行型集団登録会2,170人、集団登録会0人、その他36人

■末梢血幹細胞移植累計数：1,511件（国内ドナー⇒国内患者、2022年4月末時点）

注）数値は速報値のため訂正する場合があります。

## 1 国会（衆議院）ドナー登録会実施

2022年4月13日（水）、日本赤十字社によって実施された衆議院献血と併行し、骨髄ドナーの登録会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、日頃より骨髄バンク事業に協力いただいている国会議員の方々や、国会で働く職員等の皆様にドナー登録していただきました。また、国会議員の皆様にも、若年層のドナー登録者確保、ドナー休暇・公欠制度の導入促進などに関し国の取り組みが不可欠であることに理解を求めました。この日のドナー登録者数は6名、関係各方面のご協力に感謝申し上げます。



## 2 東京都立文京高等学校で今年度初の高校での語りべ講演会開催

ドナー登録及び骨髄・末梢血幹細胞の提供に理解を深めてもらう活動として実施している語りべ講演会。コロナ禍の中で控えられていた学校での開催も徐々に回復してきており、今年度初の高校での講演会を4月20日（水）に東京都立文京高等学校で開催しました。コロナの感染状況は落ち着いていたものの、念のため別教室で講演し各教室に配信するWeb方式で実施。今回は、来年以降登録が可能となる2年生約360名が対象ということで、若年層に向けた骨髄バンクの情報発信を担うユースアンバサダーとして活躍中の大学4年生、中田萌々香（なかたももか）さんにご講演いただきました。

移植を経験した中田さんの療養中の話や、家族、友人、病院のスタッフ等への感謝の気持ち、そして骨髄移植により健康を取り戻し、そこからの第二の人生を精いっぱい歩もうと決めたことなど、世代が近い生徒の皆さんは、自分のことのように聞き入っていました。



[https://www.jmdp.or.jp/volunteer/learn\\_about/lecture.html](https://www.jmdp.or.jp/volunteer/learn_about/lecture.html)

◇お問い合わせ先：広報渉外部 語りべ担当 TEL 03-5280-8111（平日9時～17時30分）

### 3 非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞採取施設 新たに2施設認定

下記の施設が新たに非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞採取施設として認定されました。これにより骨髄採取認定施設数は198施設、末梢血幹細胞採取認定施設数は131施設となりました。ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.jmdp.or.jp/hospitals/view2/>

- 国際医療福祉大学成田病院（骨髄）
- 順天堂大学医学部附属順天堂医院（末梢血幹細胞）

### 4 ドナー休暇制度導入、724企業・団体に

働きながらドナーになる方にとって提供しやすい環境づくりのため、当法人では全国の企業・団体へ「ドナー休暇制度」の導入を推進しています。導入を確認しているのは724企業・団体です（2022年5月1日現在）。当法人ホームページに導入企業・団体リストを掲載しております。

[https://www.jmdp.or.jp/documents/file/02\\_donation/list\\_donation.pdf](https://www.jmdp.or.jp/documents/file/02_donation/list_donation.pdf)

◇お問い合わせ先 広報渉外部 ドナー休暇制度導入担当 03-5280-8111（平日9時～17時30分）

### 5 タウン紙でドナー休暇導入を呼びかけ

神奈川県全域及び東京多摩地域の地域情報紙「タウンニュース」港北区版の4月21日（木）号で、事業者へドナー休暇の導入を呼びかける記事が掲載されました。導入事業者は少しずつ増えているものの、横浜市内でドナー休暇を導入している事業者の数は6社1病院に留まっており、これを機に導入が促進されることが期待されます。なお、タウンニュース紙では、港北区版を含め、横浜市内の各区版でもドナー休暇の導入を呼びかける記事を掲載しています。

<https://www.townnews.co.jp/0103/2022/04/21/621806.html>



市内在住のドナー登録者数	市内在住の提供ドナー数
12,980人(2131世帯)	
	17年度 33人
	18年度 34人
	19年度 41人
	20年度 22人

### 6 ドナー助成制度導入、864自治体に

「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が以下の自治体で導入されました。全国で864自治体になります（2022年5月13日現在）。助成内容は各自治体により異なりますので、直接お問い合わせください。

- 青森県南部町 ○宮城県大崎市 ○長野県須坂市、松本市 ○神奈川県寒川町
- 新潟県糸魚川市 ○滋賀県高島市、東近江市、多賀町、豊郷町、日野町、竜王町
- 大阪府箕面市 ○福岡県福津市、小郡市、苅田町 ○熊本県八代市
- 佐賀県唐津市、大町町、基山町、白石町、太良町、吉野ヶ里町

[https://www.jmdp.or.jp/documents/file/02\\_donation/donor\\_municipality.pdf](https://www.jmdp.or.jp/documents/file/02_donation/donor_municipality.pdf)